　　　　　　　　　　　　2021年1月29日

(一財)大阪科学技術センター

第140回OSTEC講演会 開催のご案内

常に勝ち続ける「ものづくり企業」の条件とは

－技術・技能の暗黙知の組織的継承が鍵－

　我が国のものづくり企業の最も重要な課題は、持続的競争優位の確保、すなわち、常に勝ち続けること

です。どんなに優れた技術を持つものづくり企業であっても、時間の経過とともに国内外のライバル企業に

追い上げられ負けてしまいます。そのような残念な事態を避けるにはどうすればよいでしょうか。

　常に勝ち続ける「ものづくり企業」の条件とは、第一に、徹底した技術・技能のデジタル化による高い生

産性の追求と価格競争力の実現です。そして第二は、他社が真似できない暗黙知的な技術・技能の

維持・継承と、さらなるレベルアップによる高い収益性の実現です。この２つの方策をセットで同時に達成している企業は常に勝ち続けることができます。このことはコロナ禍の有無にかかわらず当てはまります。

　しかし、日本のものづくり企業においては、上記の２つの条件を同時に達成している企業はまれです。

そこで、今回の講演では、技術・技能のデジタル化と暗黙知的な技術・技能の維持・継承に焦点をあてて、常に勝ち続ける「ものづくり企業」の条件を探ります。そして、模範的企業に関する事例分析をご紹介します。今回提示する考え方やノウハウを身に付けることができれば、日本のものづくり産業の未来は明るいものとなると信じます。

是非この機会に皆さまのご参加をお待ちしています。

記

１．日　　　時：2021年3月2日（火）17時00分～18時00分

２．開催形式：オンライン開催（Zoom）

　　　　　　　　　　※お申込みいただいた方に後日、オンラインへの視聴用URLをe-mailでお送りいたします。

※オンライン参加が出来ない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

３．演　　　題：常に勝ち続ける「ものづくり企業」の条件とは－技術・技能の暗黙知の組織的継承が鍵－

４.　講 演 者：立命館大学大学院　テクノロジー・マネジメント研究科　教授　名取　隆　氏

５．参加費：OSTEC賛助会員は、無料

OSTEC賛助会員以外は1名あたり2,000円（消費税込）

※当財団の賛助会員のご確認は下記のＵＲＬをご確認下さい。

<http://www.ostec.or.jp/pln.html#list>

6．振 込 先：OSTEC賛助会員以外でオンライン参加のお申込の方は、お申込みいただいた後、

請求書のご送付または振込先をご連絡いたします。

7．お申込み：裏面の申込書欄に必要事項をご記入の上、E-mail でお申し込み下さい。

また、同内容をFAXでお送りいただいても結構です。

<http://www.ostec.or.jp/ostec_wp/pdf/kouenkai/140kouenkaiannai.docx>

8．申込み締切：2021年2月22日（月）

9．お問合せ先：（一財）大阪科学技術センター　総務部　黒田、今村

　　　　　　　　　　　　　TEL:06-6443-5316　FAX:06-6443-5319

E-mail: kikaku-event@ostec.or.jp

以　上

E-mail: kikaku-event@ostec.or.jp

（または、ＦＡＸ：０６－６４４３－５３１９　今村 行）

定員になり次第、締め切らせていただきます。(申込受付2月22日(月)まで)

3月2日(火)　第140回ＯＳＴＥＣ講演会（講演のご案内）参 加 申 込 書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 社名・団体名： | | | |
| 賛助会員企業・賛助会員団体(参加費：無料)\*賛助会員企業・賛助会員団体は、どなた様でもご参加できます。  賛助会員以外(参加費：2,000円)  ※いずれかに✓をお願いします。 | | | |
| 所在地：〒  ＴＥL：（ ） ― ＦＡＸ：（ ） ― | | | |
| 所　　属 | 役　職　名 | 氏　名（フリガナ） | E-Mail |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

\*ご連絡頂いた個人情報は、本事業に関する申込みの受付、ご連絡及び当財団に関連する講演会・見学会の

ご案内以外には使用致しません。



～講師ご略歴～

　　　　　　　　　　　　　　1980年東京大学経済学部卒業後、日本開発銀行(現、日本政策投資銀行:略称ＤＢＪ)入行。

　　　　　　　　　　　　　　英国ロンドンビジネススクール･スローン･プログラムコース修了、東北大学大学院工学研究

科技術社会システム専攻を修了し、博士（工学）を取得。ＤＢＪに約30年在職して、新事業

プロジェクト調査、業界・技術審査、ファイナンス実務などに従事。あらゆる業界に精通。2009年

4月より現職。研究分野は中小中堅企業の新製品開発、技術マーケティング、自治体の中小

中堅企業向けのイノベーション支援政策、オープンイノベーションなど。研究実績は、学術論文

（査読付）、学会発表、著書など極めて多数。中小企業の技術マーケティングをテーマとした学術

論文で日本ベンチャー学会より第8回清成忠男賞（論文部門）を受賞している。また、自治体、

経済団体等への各種公職に多数就任。さらに中小企業基盤整備機構や関西経済連合会等が

主催する研究会、セミナー等で講演を行うなど社会貢献に努めている。著書の中で「兵神装備が

進める中小ものづくり企業のブランド戦略」（日経BP、2016年10月）は好評で、第２版を出版。

また、研修講師等として企業の経営幹部育成、技術者等の教育、指導にも携わる。